

「減災に向けて」

確保とまちづくり～

今年も出水期に入りました。いつどこで災害が発生してもおかしくありません。災害が発生した時に、災害被害を最小限に抑えるためには、日頃、どのようなことができるのか。そして、万一、災害が発生した時に、どのように行動すべきか知っておく必要があります。今回は、町防災担当へ話を聞きました。減災に向けての参考にしてください。

【台風や豪雨の接近時】

台風や豪雨の注意報や警報について、どのように情報収集できますか？

注意報や警報等の気象情報は、気象庁のホームページ「あなたの街の防災情報」から入手することができます。他にも、しまね防災メールに登録しておくこと、注意報や警報等が発令された時に、メールが届きます。

しまね防災メールは、登録さえしておけば、注意報・警報等発令時に自動的にメールが届くというところですか？

そうです。自分で検索する必要がなく、メールが届くので、携帯電話でいつでも最新の情報を入手することができます。

避難所開設等の情報はどのように収集することができますか？

避難に関する情報は、告知放送や町のホームページ、フェイスブック、ラインまたはヤフー防災速報から入手することができます。

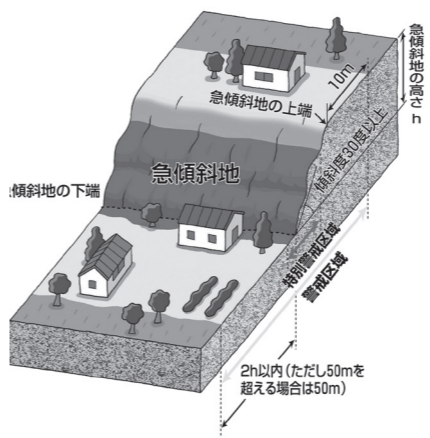
【空振りを恐れず、命を守る行動を！】

どのようなタイミングで避難をするのでしょうか？

町から「警戒レベル3 高齢者等避難」が発令された場合は、高齢の方、障がいのある方、妊娠をしている方など避難に時間のかかる方やその支援者は、危険な場所から避難してください。それ以外の方は、いつでも避難ができるように準備をしてください。

危険な場所とはどのような場所ですか？

土砂災害や河川の氾濫が予想される場所です。ハザードマップで土砂災害警戒地域（通称：イエローゾーン）や土砂災害特別警戒地域（通称：レッドゾーン）となっている地域が危険な場所となります。



どのように自宅が安全だと判断できますか？

- ① 自宅が安全だと判断する3つの点があります。
 - ① イエローゾーンやレッドゾーンでないこと。
 - ② 水・食糧などの備えがあること。
 - ③ これは、家の周りで被害があり、身動きが取れず、孤立してしまった時に備えるためです。
- ② 2階以上の階があること。
- ③ 2階以上の階があること。

避難するときの注意点はありますか？

避難所では、物資の品数等に限りがあります。可能な限りご持参をお願いします。どのような物を準備すべきかは、次のチェックリストを参考に、ご家族の人数や構成等に合わせてください。ただし、自らが担いで避

奥出雲創生の現在地 ～安心して暮らせる生活基盤の

非常持出品チェックリスト(一例)

- 食料品
非常食、飲料水、お菓子
- 衛生用品
ばんそうこう、包帯等、常備薬、常用薬、お薬手帳、ウェットティッシュ、生理用品、マスク、手指消毒液
- 衣類等
下着類、替えの衣類、洗面用具、タオル、手袋、雨具
- 生活用品
軍手、スリッパ、ナイフ、ヘルメット、懐中電灯(予備電池含む)、携帯ラジオ、ビニール袋
- その他
予備のメガネ、義歯、紙おむつ、粉ミルク、通帳や保険証のコピー等

難所まで歩かなければいけないので、持ち歩けるように内容品の取捨選択を行ってください。重さの目安は、男性15kg、女性10kgです。

【日頃からの備え】

日頃の備えとしてどのようなことをしておくとよいですか？

ハザードマップを見て、自宅がイエローゾーンまたはレッドゾーンにあるかを確認してください。もし、自宅が、ゾーン内または付近にあるなら、一番被害が少なくてすむだろう部屋はどこか検討してみてください。例えば、近くに崖があるなら、崖から一番遠い部屋や川が近くにあるなら2階が比較的安全な場所となります。また、避難する時のルートも検討することが大切です。なるべく、川やイエローゾーン・レッドゾーンを避けて避難することを考えてみてください。

その他には何をしておくとよいですか？

非常持出品の中身のチェックです。消費期限がある物もあるので、入れ替えをする必要も必要です。また、土砂等が流れ込んできた時のために、寝室に厚底スリッパを設置したり、外出着を1着掛けておくという対策もできます。

【町の減災対策】

万が一に備え、町の取り組みを教えてください。

町職員による避難所開設や運営訓練を行ったり、災害備蓄品の購入や更新をして

「警戒レベル3」で避難をした人以外は、どのタイミングで避難をするのでしょうか？

「警戒レベル4 避難指示」が発令されたら、危険な場所から全員が避難する必要があります。「警戒レベル5 緊急安全確保」が発令された時は、すでに災害が発生しているか差し迫った状況です。この状況で、安全な避難は難しく、「安全・確実に避難できる時に、空振り」を恐れず、早めに避難することが大切です。

土砂災害の前兆

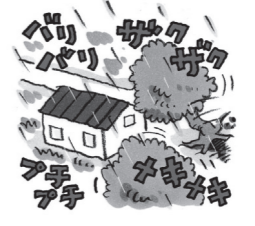
がけ崩れ



小石がばらばら落ちてくる。



がけから急に水がわき出る。

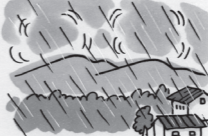


がけの上の木がゆれたり傾いたりする。地鳴りがする。

土石流



雨は降り続けているのに川の水量が減る。



山なりがする。



川の水がにごり、水と一っしょに倒れた木が流れてくる。

資料提供：NPO法人土砂災害防止広報センター

避難というのは、町が指定した避難所へ行けばよいのでしょうか？

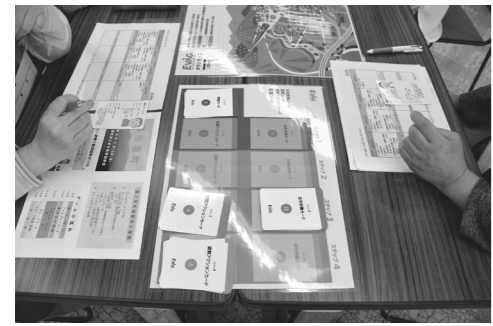
町が指定した避難所へ避難するだけでなく、安全な場所にある親戚・友人宅へ避難することも考えてみてください。また、ハザードマップ等で自宅が安全だと判断できる時は、自宅に留まることも選択肢の一つとなります。

【減災に向けて知識を増やす】

町内には、防災・減災に力を入れている地区がたくさんありますが、どのように支援をしますか？

希望される地区に対し、研修会を実施しています。研修会では、実働訓練の他に、ゲームを活用して行う訓練もあります。例えば、仮想タウンの住民になって、災害時の避難行動や共助を考えるゲームや避難所で様々な事情を抱える人々を各部屋に振り分け、発生する課題を解決するゲームなどがあります。研修会を希望される場合は、総務課防災管理係までご連絡をお願いします。ゲームを通じて、災害対応を自らの問題として考えていただくことができるのではないのでしょうか。

ゲームを活用して訓練を行う様子



各情報サイトは、こちらから登録ください！



facebook



奥出雲町公式LINE



しまね防災メール

【お問い合わせ】
総務課防災管理係
有線:31-5228
電話:54-2505